

Case : 287

雨のため介助者の足がすべり、転倒しそうになる

場面の説明

雨のためスロープの路面がぬれており、介助者の足がすべってしまった



利用シーン	 移動  階段の昇り降り
主な利用場所	 階段  玄関  段差・縁石
介護保険の種目	 スロープ
分類コード (CCTA95)	183015 (携帯用スロープ)
介護テクノロジー	—
二次元バーコード	

解説

可搬形スロープの走行面にはすべり止めが施されていますが、雨天時などでぬれている時には十分な効果を発揮できません。また、スロープの長さが短く傾斜が急な時には、ぬれることによってより危険度が増すと考えられます。安全を確保する観点から、スロープの傾斜は余裕をもってゆるやかに設定し、またぬれている時などは使用を控えるなどの配慮が必要です。

参考要因（要因の例であり、これだけが正解ということではありません）

- 人：すべり易い靴を履いていた
- 人：雨だったがどうしても外出しなければならなかった
- モノ：雨などでぬれるとすべり易くなる

日付：	所属：	氏名：
-----	-----	-----

Case : 287

雨のため介助者の足がすべり、転倒しそうになる

事例詳細



回答前に見ないこと

場面の説明

雨のためスロープの路面がぬれており、介助者の足がすべってしまった



どのような要因が考えられますか？	どのような対策が必要でしょうか？
人（本人・介護者・関係者）の要因	
モノ（福祉用具）の要因	
環境の要因	
管理の要因	

メモ